

平成20年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 岩 谷 政 良

市 民 ク ラ ブ 渡 辺 良 雄

フ ォ ー ラ ム 2 1 伊 藤 巧 一

共 産 党 加 賀 屋 千 鶴 子

護 憲 ・ わ ん ぱ く の 会 倉 田 芳 浩

秋 水 会 鎌 田 修 悦

市 民 ク ラ ブ 相 場 金 二

秋 水 会 小 原 讓

1   市 長 の 市 政 運 営 に つ い て

(1) 雇 用 の 確 保 に つ い て

ア   企 業 誘 致 の 促 進 に つ い て

イ   市 内 企 業 の 活 性 化 対 策 に つ い て

(2) 団 塊 世 代 の 定 住 促 進 に 関 す る 支 援 策 に つ い て

2   安 全 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り に つ い て

(1) 震 災 時 の 避 難 場 所 に お け る 関 係 機 関 と の 連 携 に つ い て

(2) 食 の 安 全 確 保 に つ い て

ア   こ れ ま で の 取 り 組 み と 今 後 の 対 策 に つ い て

(3) 住 宅 用 火 災 警 報 器 の 設 置 促 進 に つ い て

(4) 公 共 施 設 へ の A E D ( 自 動 体 外 式 除 細 動 器 ) の 設 置 に つ い て

ア   現 在 の 設 置 状 況 に つ い て

イ   今 後 の 設 置 計 画 に つ い て

(5) 救 急 患 者 の 搬 送 態 勢 に つ い て

(6) 橋 梁 の 安 全 管 理 に つ い て

3   地 域 づ く り 組 織 な ど の 結 成 支 援 に つ い て

(1) 市 民 協 働 の さ ら な る 推 進 を 図 る た め の 具 体 的 な 方 策 に つ い て

(2) 地 域 活 動 に 対 す る 市 職 員 の 意 識 啓 発 に つ い て

4   財 政 状 況 に つ い て

(1) 本 市 の 財 政 状 況 の 市 民 へ の 周 知 に つ い て

5   未 収 金 対 策 に つ い て

(1) 未 収 金 対 策 連 絡 協 議 会 の 体 制 と 今 後 の 取 り 組 み に つ い て

## 6 環日本海シーアンドレール構想について

### (1) 国及び県に対する協力体制と今後の展望について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 2期8年目を迎える佐竹市政の自己評価を踏まえたトップセールスについて
- (2) 福田総理の「自立と共生」路線について

2 市民協働と都市内地域分権について

(1) 市民協働について

- ア 町内会活動への支援を優先すべきと思うがどうか
- イ 有償の街路樹愛護会等と市道の草刈り等との整合をどのように認識しているのか
- ウ 本市のソーシャルキャピタルについての対応はどうか

(2) 都市内地域分権について

- ア 機能分散型と思われるが、行政経営の視点と市民満足度との整合は図られるのか
- イ 市内7ブロックへの配置を予定している（仮称）市民サービスセンターの設置基準について
- ウ 地域センターの位置づけについて
- エ （仮称）北部地域市民サービスセンターについて
  - (ア) 土崎地区の空洞化に歯どめをかけるための活性化策について
  - (イ) 地域特性としては、どのような機能を考えているのか
  - (ウ) 利便性向上のための交通アクセスについて

3 安全安心な市民生活の確保に向けた課題について

(1) 19年9月17日の豪雨被害について

- ア 被害状況の概要について
- イ 相談窓口の一本化を含めた教訓について
- ウ 土地改良区等に対する復旧支援について

(2) 今冬の除排雪について

ア 除排雪経費の見込みについて

イ 除排雪の指令はどのような基準に基づき、どのようなシステムで行われるのか、また、地域情報員、地域センター、町内会との連携は図られているのか

ウ 市民の声を踏まえた20年度以降の取り組みについて

(3) 食の安全確保と食育推進計画について

ア 食の安全確保について

イ 食育推進計画の策定について

4 消防行政について

(1) 土崎消防署本署の改築及び寺内・將軍野出張所の再編計画について

(2) 消防団の活動について

ア 19年度中の団員の災害活動や訓練などへの参加状況と女性団員も含めた団員確保の活動について

イ 消防団員の装備及び処遇の改善と施設及び機材の充実・強化について

(3) 救急業務について

ア 本市の救急車台数と年間最も多い救急隊の出動件数と1隊当たりの平均出動件数について

イ メディカルコントロール体制について

ウ ふえ続ける救急需要対策について

5 教育行政について

(1) 学校適正配置検討委員会について

(2) 自然いっぱいオープンすくうる制度について

ア 制度の周知徹底について

イ 制度の検証と評価の公表について

ウ 特色ある学校づくりに向けてメニューの見直しはないか

## エ 地域組織との連携について

### 6 農業施策について

- (1) 約 4 割の生産調整を含む水田経営所得安定対策への取り組みについて
- (2) 市独自ブランドを育てる認証制度の創設による地産地消の推進と新たな販売施設の開設について
- (3) 農業生産工程管理手法（GAP）の導入及び推進について
- (4) 鳥獣被害防止特措法の成立に伴う対応について

1 市長の市政運営について

(1) 佐竹市長が全国市長会会長に就任したことにより、本市に与えた効果は何か

(2) 今後の市債償還をどのように考えているのか

(3) 防災協定について

ア 首都圏の自治体との被災者の受け入れを含めた防災協定について

(4) プロジェクトチームについて

ア 企業集積促進プロジェクトチームの設置により、組織体制の強化と企業集積にどのような成果があったのか

イ 新たなプロジェクトチームを設置する考えはあるのか

2 学校教育について

(1) 給食費の値上げと米飯主体の給食について

(2) 通学路の安全対策についてどのように考えているのか

(3) 小中学校の統廃合に対する認識と考え方について

3 上下水道について

(1) 下水道の普及率と今後の計画について

(2) 断水時の給水車の対応について

(3) 漏水確認と認定について

4 公共交通について

(1) 不採算路線地域の今後の対応について

(2) 予約式乗合タクシー利用時の不安解消策について

(3) 公募型プロポーザル方式導入の是非と今後の対応について

5 福祉について

(1) 特別養護老人ホームの入所待機者について

6 予防接種について

(1) 麻しんの現状と対策について

7 秋田空港と秋田港の利活用について

(1) 秋田ソウル国際定期便の路線維持について

(2) 秋田港を利活用した貿易と観光について

ア 対岸諸国の姉妹都市との交流について

イ 男鹿市との連携について

8 体育施設について

(1) 室内体育施設の増設について

(2) 廃校になった学校の体育館の活用について

9 公用車での事故について

(1) 事故の原因と今後の防止策について

10 河辺・雄和両地域の振興について

(1) 地域個性発揮事業の成果と継続について

(2) 地域審議会からの意見はどのくらいあり、どのようなことが反映されたのか

11 森林について

(1) 里山荒廃の現状と防止策について

12 雄物川流域の環境美化について

(1) 雄物川流域の市町村と連携した一斉クリーンアップについて

### 13 斎場について

- (1) 新斎場の概要と供用開始時期について
- (2) 雄和火葬場の利用状況と存続について

1 市長の政治姿勢について

(1) 福田新政権の政治と国の予算について

ア 政府は、20年度の地方交付税は「微増」としたが、地方交付税を抑制する路線を撤回するには至っておらず、全国市長会の会長として取り組みを強めるべきと思うがどうか

(2) 市民本位の市政運営について

ア 「受益と負担の適正化」の名による市民への負担増、事業の民間委託や民営化はやめ、市民の命や健康、安全を守り、市民サービスの向上を図るという自治体本来の立場に立つべきと思うがどうか

2 発達障害者への支援について

(1) 早期発見・早期療育の体制づくりについて

ア 発達障害児についての理解が深まるよう、健診などさまざまな機会に情報提供の取り組みを進めるべきと思うがどうか

イ 5歳児健診もしくは5歳児健康相談を行い、発達障害児の早期発見と就学の準備につなげるべきと思うがどうか

ウ 保育所や幼稚園など関係機関との連携を図り、早期発見と同時に適切な支援を行う体制をつくるべきと思うがどうか

(2) 特別支援教育について

ア 生活支援サポーターの増員や特別支援教育コーディネーターの専任職員配置などを計画的に進めるべきと思うがどうか

イ 特別支援教育を担当する指導主事の増員や学校に特別支援教育の経験者を配置し、個別教育計画の実践や相談などにきめ細かく対応できるようにすべきと思うがどうか

ウ 教職員の専門性を高めるため、研修会などを積極的に開催すべきと思うがどうか

(3) 青年期以降の発達障害者への支援について

ア 居場所として交流や福祉的就労の場を提供すると同時に、相談、他機関との連携を図るなど総合的な支援ができる施設を設置し、支援すべきと思うかどうか

### 3 安全・安心な地域づくりについて

#### (1) 救急医療について

ア 本市の救急患者の受け入れ体制はどうか、また、将来的に不安はないか

イ 救急隊員の精神面のケアを含めた安全対策はどのように講じられているのか

ウ 県は脳血管研究センターと成人病医療センターを統合する計画案を示しているが、同施設の救急患者の受け入れ体制を拡充するよう県に申し入れるべきと思うかどうか

#### (2) 災害時の要援護者の避難について

ア 「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」に基づき避難支援計画の策定を進めるべきと思うかどうか

イ 「避難準備情報」を発令し、要援護者にわかりやすく具体的な情報提供に努め、安全に避難できるようにすべきと思うかどうか

### 4 学校給食について

#### (1) 学校給食費の値上げについて

ア 食材費の上昇分を公費負担し、給食費の値上げを避けるべきと思うかどうか

#### (2) 調理業務委託について

ア 民間委託によってコストダウンが図られるとのことであるが、安全性の確保や食育の推進をどのように両立させるのか

イ 民間委託はやめるべきと思うかどうか

### 5 地域の諸課題について

(1) 馬踏川の改修について

ア 馬踏川の河川改修の全体計画の策定に早期に着手するよう県に申し入れるべきと思うかどうか

(2) カーブミラーの設置について

ア 市道と私道の交差箇所において、交通安全上必要な場所には市の責任でカーブミラーを設置すべきと思うかどうか

1 市 長 の 政 治 姿 勢 に つ い て

- (1) 現 憲 法 に 対 す る 認 識 に つ い て
- (2) 自 衛 隊 派 遣 に 係 る い わ ゆ る 「 恒 久 法 」 に 対 す る 見 解 に つ い て

2 教 育 問 題 に つ い て

- (1) 公 教 育 の 場 に お い て 、 国 旗 を 掲 げ 国 歌 を 歌 う 意 味 に つ い て
- (2) 国 旗 及 び 国 歌 に 対 す る 認 識 に つ い て
- (3) 卒 業 式 ・ 入 学 式 の 式 次 第 に お け る 、 国 旗 及 び 国 歌 の 取 り 扱 い に 対 す  
る 指 導 に つ い て
- (4) 教 職 員 の 労 働 時 間 の 把 握 に つ い て
- (5) 教 職 員 の 病 気 休 職 者 の 状 況 と そ の 対 応 に つ い て
- (6) 教 職 員 の 中 途 退 職 者 の 状 況 と そ の 見 解 に つ い て
- (7) 保 護 者 か ら の 苦 情 の 内 容 と 学 校 の 対 応 に つ い て
- (8) 不 登 校 児 童 生 徒 の 定 義 に つ い て
- (9) 不 登 校 に 至 っ た 理 由 に つ い て
- (10) 通 学 区 域 外 通 学 は 基 準 の 範 囲 で 行 わ れ て い る の か
- (11) 中 学 校 に お け る 部 活 動 の 位 置 づ け に つ い て

3 労 働 ・ 雇 用 対 策 に つ い て

- (1) 本 市 職 員 へ の メ ン タ ル ヘ ル ス 面 に 関 す る 取 り 組 み に つ い て
- (2) 若 者 の 雇 用 対 策 に つ い て
- (3) 誘 致 企 業 の 労 働 環 境 な ど の 実 態 調 査 に つ い て

4 「 ま つ り 」 へ の 支 援 に つ い て

- (1) 港 曳 山 ま つ り を 含 め 、 「 ま つ り 」 に 対 す る 人 的 支 援 体 制 づ く り に つ  
い て
- (2) 秋 田 ・ 河 辺 冬 ま つ り の 20年 度 の 開 催 見 通 し に つ い て

## 5 まちづくりについて

- (1) 中心市街地活性化基本計画（原案）の見直しについて
- (2) 優良建築物等整備事業の評価について
- (3) 外旭川地区への大型ショッピングセンターの建設予定について

## 6 市町合併について

- (1) これまでの評価と今後の課題について
- (2) 地域審議会におけるこれまでの提言・意見の内容について

## 7 包括外部監査の結果等について

- (1) 18年度の包括外部監査の結果に対する取り組みについて
- (2) 19年度の包括外部監査の結果に対する今後の取り組みについて
- (3) 本市が4分の1以上出資している公社・団体へ再就職している市職員の役職別人数及び再就職先の決定方法について

## 8 公用車の安全管理について

## 9 部局間の連携について

- (1) 道路工事や上下水道工事における部局間の連携について

1    20年度予算関連について

- (1) 公債発行特例法案や関税定率法改正案などの日切れ法案が3月末で期限切れになった場合の本市への影響について
- (2) 地方公営企業等金融機構及び地域力再生機構への出資額は幾らか、また、両機構へ出資しない自治体もあると想定されるのか
- (3) 20年度の国の予算原案における地方交付税の増額についての市長の感想はどうか、また、この原案について、小泉政権と比較しての印象はどうか
- (4) 国の予算は地方分権改革に逆行していると思うが、市長の見解はどうか
- (5) 財政改革に取り組む市長の決意について

2    建築基準法の改正に伴う諸問題について

- (1) 改正建築基準法の施行後、急激に新設住宅着工戸数が減少した原因は何か、また、最も改正の影響を受けた建築物は何か
- (2) 改正建築基準法の施行に伴う本市建設業者への影響について
- (3) 中小建設業者に対する支援策について
- (4) 改正建築基準法の施行に伴う混乱が解消される見通しについて
- (5) 指定道路として調査対象となる路線について
- (6) 指定道路図及び指定道路調書の作成経費について
- (7) 指定道路図及び指定道路調書の作成過程で発生する諸問題への対応について

3    災害対策について

- (1) 住宅や災害時に防災活動等の拠点となりうる本市所有の公共施設の耐震化率について
- (2) 旧耐震基準の住宅戸数と木造住宅耐震改修等事業の20年度の利用見

通しについて

(3) 秋田市地域防災計画の修正に当たっての諸課題について

#### 4 まちづくりについて

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 中通一丁目地区市街地再開発事業推進協議会における、県、市、準備組合及び秋田商工会議所との最終合意の意味と、協議会に出席している県の代表者の権限について

イ 県立美術館の移転協議が長期化した場合の再開発事業への影響について

ウ 公共公益施設等の用地は県から購入することになるのか、また、総事業費185億円の中にも用地取得費が含まれているのか

エ 特定財源である国庫補助金や合併特例債の具体的な内訳について

(2) 中心市街地活性化基本計画について

ア 基本計画区域内における「地図混乱地域」の有無と基本計画への影響について

イ 基本計画における目標数値の確実な達成について

ウ 準工業地域を規制する条例の内容について

エ 福島県商業まちづくり推進条例施行後の状況の把握について

オ 基本計画区域内の空きオフィスや空き店舗などをまとめた、仮称「空きビルカルテ」の作成について

(3) 歴史的風致維持向上計画策定の検討について

#### 5 環境問題について

(1) 地球温暖化による具体的な影響と温暖化防止のための本市の施策について

(2) 地中熱を利用した冷暖房システムの山王中学校での成果と今後の公共施設への導入について

(3) 本市における風力発電の導入に対する認識について

(4) 家電リサイクル法施行後の対象品目の不法投棄の状況について

(5) 家庭から排出される医療ごみの処理について

## 6 農林業の振興について

### (1) 林業について

ア 本市における、国、県、市及び民有林のそれぞれの森林面積と、

国、県及び市の森林の保育等に関する長期計画の策定について

イ 秋田中央森林組合への加入状況と森林組合の活動の現状について

ウ 民有林の整備・保全に対する支援策について

エ 担い手不足と高齢化が進む林業における雇用創出対策の検討について

### (2) 農業について

ア 本市農家の平均農地面積及び農業従事者の年齢構成並びに本県農家の平均総所得及び農業所得について

イ 米消費拡大に対する取り組みについて

ウ 品目横断的経営安定対策が農家にとって不評な要因とその対策について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 全国市長会会長として、第二期地方分権改革推進のための課題とその解決の見通しをどのように考えているのか
- (2) 地方六団体などの道路特定財源問題への対応の方向と世論調査などで示されている民意との乖離について、全国市長会会長としてどのように考えているのか
- (3) 目指すべき秋田市政について市長の意気とその指標となるものは何か

2 市民協働による市政の展開について

- (1) (仮称)市民サービスセンター設置等の市民協働を志向した施策に対する市民の声や提案にはどのようなものがあり、それらはどのように扱われたのか

3 新秋田市人材育成基本方針について

- (1) 基本方針における人材育成のねらいと現状について

4 家族・地域の絆づくりについて

- (1) 親子、家族及び地域の絆づくりの推進に向けた方策について、どのように考えているのか

5 安全・安心の取り組みについて

- (1) 冬道の安全対策について

ア 今年度の降雪量は平年に比べてどうか、また、今冬の除排雪対策について、現状でどのように評価しているのか

イ 住宅に隣接した農用地などを臨時堆雪場として確保することについて、どのように考えているのか

ウ 歩道融雪システムは、交差する歩車道を含めて整備すべきと考えるかどうか

エ JRの下を通る道路の融雪は、排水ポンプを利用した散水システムにより融雪すべきと考えるかどうか

(2) 水の安全対策について

ア 異常な降雨が続いているが、古川及び猿田川流域のハザードマップ等により安全確保を図るべきではないか

イ 雄物川の増水による被害防止のためポンプによる排水が効果的と考えるが、このことに対する見解と県有施設の活用の見通しはどうか

(3) 急傾斜地の現状と今後の対応の見通しについて

(4) 火災予防組合の現状と住宅用火災警報器設置支援への取り組み状況について

(5) 食の安全対策の推進のためには、食品提供者などの関係機関との密接な連携による取り組みが重要と考えるが、現状における対応と今後の対応方針はどのようなになっているのか

6 中通一丁目地区市街地再開発事業及び中心市街地活性化基本計画について

(1) 再開発事業の開発コンセプトを「水と緑があふれ、そこで人が美しく輝く文化と交流の拠点」としたねらいは何か

(2) 基本計画（原案）の基本方針に「歴史・文化資源と新たな都市機能とが調和した街づくり」とあるが、これを具体化するためには、佐竹史料館及び県立美術館は現在地から移転すべきではないと考えるが、どのように考えているのか

(3) 「城下町ルネッサンス」というコンセプトをより明確化するためには、佐竹家家伝の能舞台を千秋公園内の佐竹史料館の近接地に設置すべきと思うかどうか

(4) 千秋公園の歴史と風格を重視する視点から、堀端の民間教育施設の

移転を提案し、景観を向上させるべきではないか

- (5) 日赤・婦人会館跡地には、市民要望の多い駐車場、イベントや憩いの広場を設置すべきと考えるがどうか

## 7 教育問題について

- (1) 本市の特性を強調した「日本一・秋田教育の指針」を策定すべきではないか
- (2) 家庭における子育て、しつけについて親の役割を啓発すべきではないか
- (3) 放課後児童対策のため児童館や児童センターの役割は大きいものと思われるが、施設の利用状況と運営の実情はどうか、また、課題等は何か
- (4) 中学校及び高等学校における学習意欲が二極分化していると言われるが、本市における中学校の実情はどのようなになっているのか、また、どのような対応を考えているのか
- (5) いわゆるモンスターペアレントなどによる学校や教師に対する要求が多いと言われるが、学校においてどのような対応をしているのか、また、教育委員会の考え方はどうか
- (6) 早寝、早起き、朝ご飯が推奨されているが、本市の児童生徒のこれらの状況はどうなっているのか
- (7) 農作業への体験的従事を通じた食育の推進について

## 8 農業振興について

- (1) 秋田市農林水産業・農村振興基本計画の進捗状況はどうなっているのか
- (2) 地球環境保護が重要視される時代にあって、農林業の環境保全に対する寄与を明確化して市民に啓発すべきと考えるがどうか
- (3) 水路や農道等農業関連社会資本の維持に市民の協力を求め、積極的に活動を支援すべきと考えるがどうか

(4) 自然、水源の探訪ウオーキング協会との交流をより積極的に推進すべきと思うかどうか

(5) 水生昆虫及び植物の保護について

ア 国が示している水生昆虫及び植物の保護についてどう対応しているのか

イ 水路等の改良工事の際には環境への影響も配慮すべきではないか

(6) 畜産振興について

ア 県による家畜市場統合の動きがあるが、どう把握しているのか

イ 県による新たな家畜市場設置の動きがあるが、本市に設置を要望すべきではないか

(7) 米消費拡大の取り組みについて

ア 米の栄養価をより積極的にPRすべきではないか

9 秋田城跡と秋田市の史跡の整備及び保護について

10 国際化の推進について

(1) 秋田ソウル国際定期便利用による国際理解の推進を図るべく、中長期的な視点で秋田と韓国の相互理解に努める必要があると考えるが、児童生徒を含めた市民レベルの交流・相互理解の取り組みを図るべきではないか

(2) 主要な宿泊施設や観光施設にはハングルによるサインや掲示が見当たらないが、これらの整備が必要ではないか

1   市 政 運 営 に つ い て

(1) 産 業 経 済 の 振 興 に つ い て

ア   新 規 企 業 誘 致 の 課 題 と 新 年 度 の 取 り 組 み に つ い て

イ   既 存 産 業 の 振 興 に お け る 業 種 別 の 課 題 と 新 年 度 の 目 標 に つ い て

(2) 家 族 ・ 地 域 の 絆 づ く り に つ い て

ア   市 民 憲 章 と の か か わ り 方 に つ い て

イ   地 域 行 事 と 小 中 学 校 の 部 活 動 等 と の 調 整 に つ い て

(3) 全 庁 的 な 事 業 調 整 に 係 る 経 費 に つ い て

2   財 政 に つ い て

(1) 歳 入 構 造 の 課 題 に つ い て

(2) 自 主 財 源 の 確 保 に つ い て

ア   市 税 の 収 納 率 の 向 上 対 策 に つ い て

イ   滞 納 整 理 に つ い て

ウ   各 種 使 用 料 の 見 直 し に つ い て

エ   遊 休 資 産 の 処 分 に つ い て

(3) 広 告 料 収 入 の 確 保 に 向 け た 取 り 組 み に つ い て

ア   （ 仮 称 ） 広 告 事 業 推 進 担 当 の 設 置 と 今 後 の 広 告 掲 載 の 導 入 計 画 に  
つ い て

イ   行 政 財 産 と 広 告 の 関 係 に つ い て

ウ   広 告 料 の 積 算 根 拠 に つ い て

(4) 建 物 の 借 上 料 等 に つ い て

3   ス ポ ー ツ 振 興 に つ い て

(1) 国 体 余 剰 金 の 使 途 に つ い て

4   教 育 行 政 に つ い て

- (1) 教育行政の分権化について
- (2) 教育委員会の活性化について
  - ア 教育委員の構成について
  - イ 教育委員会会議の公開について
  - ウ 教育行政の相談窓口について
- (3) 全国学力・学習状況調査について

## 5 公社・第三セクターの諸課題について

- (1) 包括外部監査の結果報告書の検討結果と新年度の取り組みについて
- (2) 塩漬け状態の土地における取得金額と現在の価格との差額について
- (3) 事業不振による負債の責任について
  - ア 首長の引責について
  - イ 本市の責任者負担について
  - ウ 本市における過去の引責事例について

## 6 勤務時間中の組合活動に対する給与支給について

- (1) 組合との協議経過と支払った給与の取り扱いについて